

# 取扱いについて

施工の前に必ずお読みのうえ、正しく施工してください。

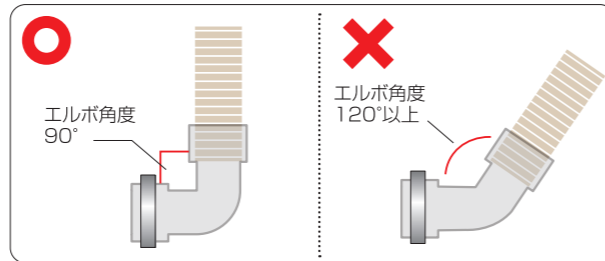
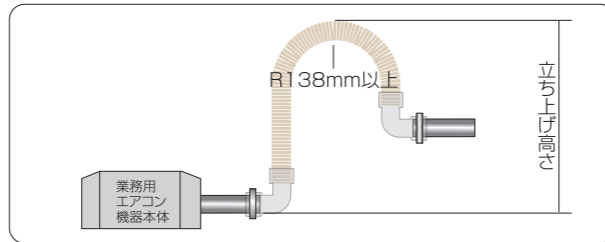
業務用エアコン(PAC)ドレンアップ配管

## エバックドレンアップホース EDU型

### 取付位置の確認

- 本製品の取付は、エルボの角度が120°以上に広がらないように取付けてください。
- 必ず最小曲げ半径138mm以上で施工してください。
- 許容立ち上げ高さは、空調機器メーカーの取扱説明書を参照し、垂直に立ち上げてください。

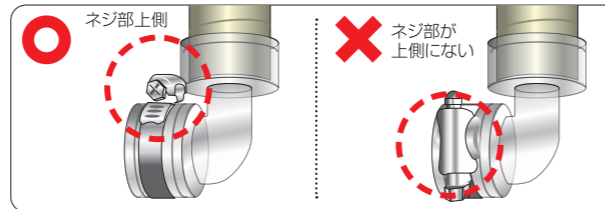
※エルボの角度が120°以上に広がると接続部に大きな負担が発生し、漏水を起こす可能性があります。  
 ※ねじりが発生した場合、ねじりがエルボ部に集中しないように、ホース全体でねじりを分散し、90°以内のねじりで施工してください。  
 ※引っ張り力を発生させないため、ホース長の選定は十分に検証してください。



### 機器側の接続

#### ①エルボバンドの装着

- 付属のバンドを締め付けられない状態でエルボの嵌合部分の中央に差し込んでおきます。
- ※バンドの締め付けネジ部を必ず上側にしてください。バンド位置を誤ると、断熱カバーが被らず、結露する恐れがあります。

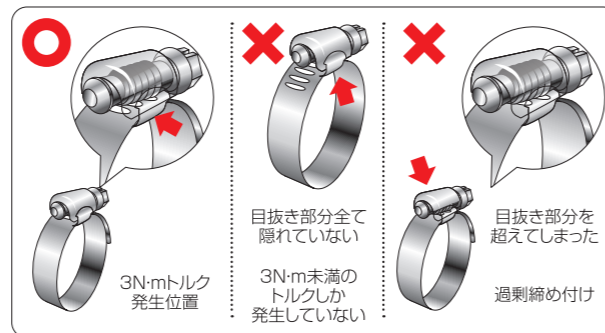


#### ②機器側の接続

##### 【バンド締め接続する場合】

ドレン接続口(呼び径φ20、呼び径φ25)に、本製品のエルボを奥まで差し込み、バンドの目抜き部分が、ハウジング部に全て隠れるよう(概ね3N・m)最後までしっかり締め付けてください。

※3N・mは、本製品を塩ビ管に接続し、バンドを締め付けたときのトルク値です。  
 ※ハウジング部がバンドの目抜き部分をこえて締めつけた場合、バンドが空回りし、バンド破壊の恐れがあるため、過剰に締め付けしないでください。  
 ※3N・mの管理には、トルクレンチの使用を推奨します。



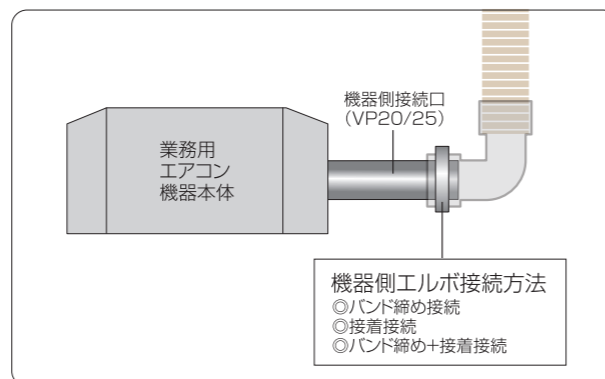
##### 【接着接続する場合】

ドレン接続口(呼び径φ20、呼び径φ25)と本製品のエルボに塩ビ系接着剤を均一に塗布し、本製品のエルボを奥まで差し込んでください。

※本製品の接着部分にはテーパが設けられているため、差し込んだ管を差し戻す力が働くため、接着効果が生じるまで(10秒以上)保持してください。  
 ※接着加工時は通風を十分にに行い、溶剤除去してください。

##### 【接着とバンド締め接続する場合】

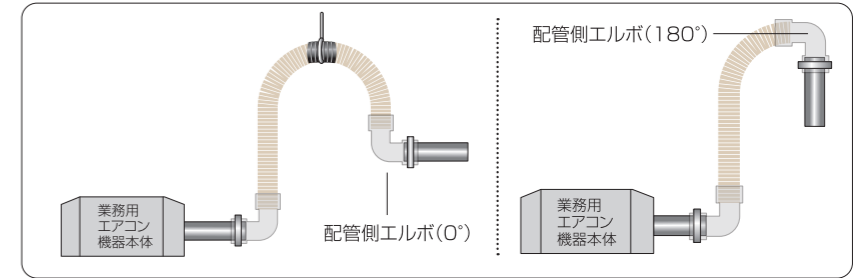
【接着接続する場合】の手順を行い、接着・管の挿入を確認し、バンドの目抜き部分が、ハウジング部に全て隠れるよう最後までしっかり締め付けてください。



### 配管側の接続

#### 【配管側エルボの場合】

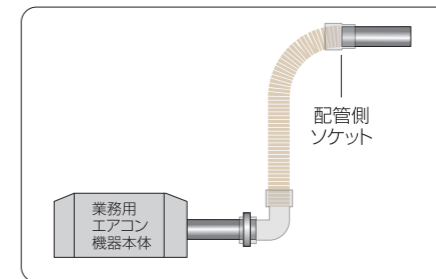
「②機器側の接続」と同様の手順で施工してください。



#### 【配管側ソケットの場合】

ドレン配管口(呼び径φ20、呼び径φ25、呼び径φ30)と本製品のソケットに塩ビ系接着剤を均一に塗布し、本製品のソケットを奥まで差し込んでください。

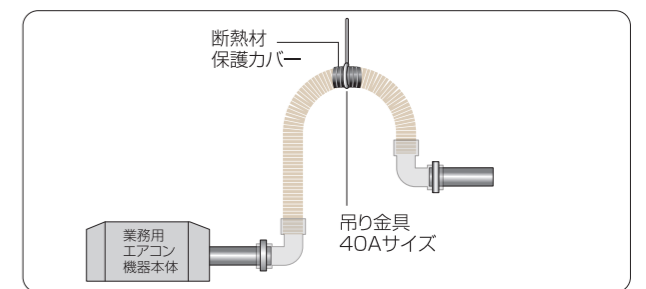
※必ずドレン配管口のサイズを確認の上、同サイズのエルボあるいはソケットと接続してください。



### 支持固定

付属の断熱材保護カバーを吊り金具の位置までスライドさせ、その上から市販の40Aサイズ(適合管外径52.2mm)にて固定してください。

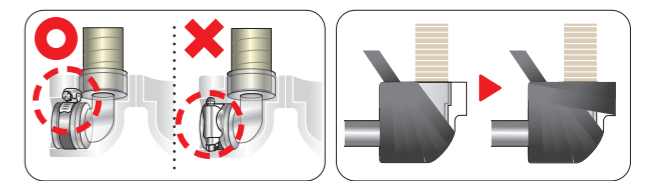
※配管完了後、必ず配管に大きな負担がかかっていないかを再度確認し、吊りバンドの位置等を調整してください。  
 ※断熱材保護カバーが不要な場合、半割れ部よりカバーを広げ、ホースから取り外し可能です。



### 断熱材の取付

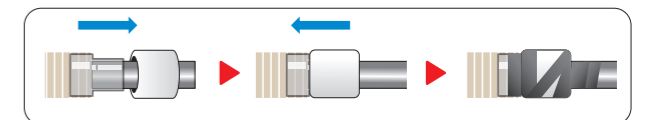
#### 【エルボタイプの場合】

- ドレンアップ通水確認後、漏水のないことが確認されたら、エルボ部品に付属の断熱カバーをセットしてください。その際、バンドの締め付けねじ部は必ず上側としてください。
- 断熱カバーの背割れ部分を密着させながら、隙間のないようにビニールテープ等を巻き付けてください。



#### 【ソケットタイプの場合】

付属の断熱材を配管側にずらし、管の挿入状態、漏水のないことが確認されたら断熱材をソケットに戻し、ビニールテープ等で固定してください。



### 使用温度条件

0°C~60°C(凍結しない環境)



#### 注意事項

1. 使用前の注意事項
  - ①本製品はパッケージエアコンのドレンアップ排水専用です。その他の用途には使用しないでください。
  - ②商品の性能、機能を十分に発揮させるために、正しい接続工事が必要です。(各空調機器メーカーの注意事項も確認してください。)
2. 使用時の注意事項
  - ①使用時は凍結しない環境下で使用してください。
  - ②接着剤使用の際、接着剤を接着箇所以外の部分に付着させないでください。溶剤に侵され破断する場合があります。
3. 保管上の注意事項
  - ①保管の際は、周囲温度が-20°C~60°C以内の場所で保管してください。
  - ②ホースを大量に積み上げたり、ホースの上に重量物を置かないでください。
  - ③ホースを極端に曲げた状態で保管しないでください。

# 取扱いについて

施工の前に必ずお読みのうえ、正しく施工してください。

エアコン用断熱ドレンホース

## 断熱ドレンホース NDH型

### 安全に関するご注意

- 本商品はエアコンのドレン排水用以外には使用しないでください。  
※ケガや、事故の原因となります。
- ホースおよび部品は合成樹脂製のため、周囲温度が-20℃~60℃以外の場所では保管しないでください。  
※夏場の炎天下、または高温の車内等に放置したりすると、変形の原因となります。
- 施工時の周囲温度範囲は、-20℃~60℃以外で行わないでください。  
※商品の割れ、硬化、軟化の原因となり、危険です。
- 切断および施工時は安全な足場を確保してください。  
※転落する恐れがあり、危険です。
- ホースの切断時は刃物の取り扱いに十分注意してください。  
※ケガをする恐れがあり、危険です。
- 接着加工時は換気に十分注意してください。  
※気分が悪くなったり、中毒を起こす恐れがあります。
- ホースや部品、接着剤の近くで焚き火やタバコなど火気を扱わないでください。  
※類焼する恐れがあり、火災の原因となります。

### 施工に関するご注意

#### ①ホース切断

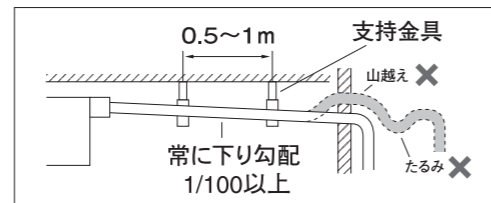
- ホースの切断面が直角でないと、接着不良の原因となります。ハサミまたは、カッターナイフ(電工ナイフ)で斜めにならないように切断してください。
- 切断時、ホースの内管が変形しないように、また断熱材や芯線がはみ出さないように切断してください。

#### ②ホースと部品の接着

- 塩ビ管用接着剤を、ホース内面全周に約20mmの幅でムラなく塗布し、ホースをしっかり部品の奥まで差し込んでください。
- ホースと部品の間に断熱材や芯線がはさまってしまうと、水漏れの原因となりますので、注意してください。
- 接着部分の内外面ともにノリダレがないかを確認し、ある場合はウエス等で取り除いてください。

#### ③ホース取り付け方法

- ドレン配管は常に下り勾配(1/100以上)で取り付けてください。
- 水漏れや逆流の原因となるため、配管の途中で山越えやたるみを作らないようにしてください。

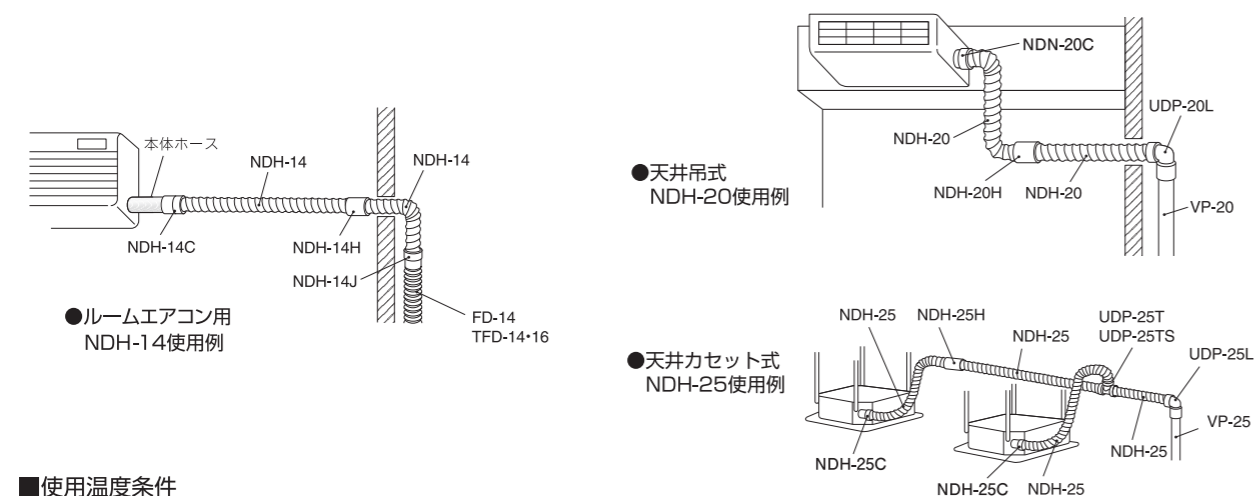


- 挫屈の原因となりますので、ホースの最小曲げ半径は外径の3倍以上で施工してください。

#### ④使用開始

- 使用は接着剤が完全に硬化してから開始してください。

### 断熱ドレンホース施工例



■使用温度条件  
0℃~60℃(凍結しない環境)

ルームエアコン用断熱ドレンホース

## 断熱ドレンホース YDH型

### 安全に関するご注意

- 本商品はエアコンのドレン排水用以外には使用しないでください。  
※ケガや、事故の原因となります。
- ホースは合成樹脂製のため、周囲温度が-20℃~60℃以外の場所では保管しないでください。  
※夏場の炎天下、または高温の車内等に放置したりすると、変形の原因となります。
- 施工時の周囲温度範囲は、-20℃~60℃以外で行わないでください。  
※商品の割れ、硬化、軟化の原因となり、危険です。
- 施工時は安全な足場を確保してください。  
※転落する恐れがあり、危険です。
- ホースの近くで焚き火やタバコなど火気を扱わないでください。  
※類焼する恐れがあり、火災の原因となります。

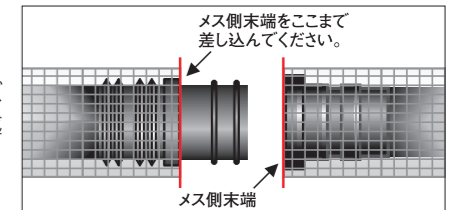
### 施工に関するご注意

#### ホース切断不可

- ホースの両端には、部品(カフス、ジョイント)が内蔵されています。ホースを切断しないでください。  
※ホース両端以外の位置には、部品(カフス、ジョイント)が内蔵されていないため、ナイフ等で切断すると本来の接続機能を発揮しません。本商品には、ナイフ等を使用しないでください。

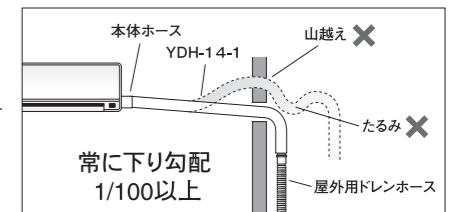
#### ホース接続

- エアコン本体用ドレンホース(口元サイズφ16)及び屋外用ドレンホース(口元サイズφ16)との接続、また本製品同士の接続の際は、メス側の末端を、オス側のリップを越えて外径が変わる位置までしっかり差し込んでください。
- 安全のため、すべての接続部分には、隙間のないようにテープ巻をしてください。



#### 取り付け方法

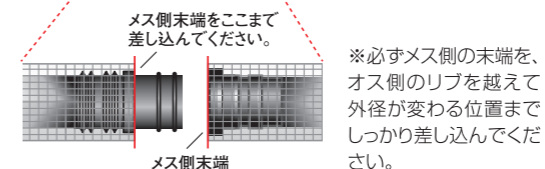
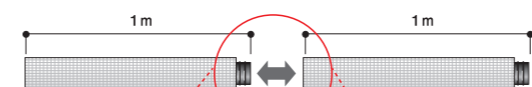
- ドレン配管は常に下り勾配(1/100以上)で取り付けてください。
- 水漏れや逆流の原因となるため、配管の途中で山越えやたるみを作らないようにしてください。
- 座屈の原因となるため、ホースの最小曲げ半径は外径の3倍以上で施工してください。



### 施工手順

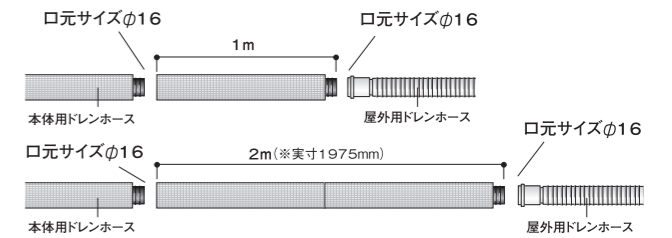
- ①必要な本数を取り出してください。

2m施工の場合  
2本を取り出し、下図のように差し込んでください。



■使用温度条件  
0℃~60℃(凍結しない環境)

- ②機器内部の本体用ドレンホース(口元サイズφ16)と屋外用ドレンホース(口元サイズφ16)に直接差し込んでください。



※必ずメス側の末端を、オス側のリップを越えて外径が変わる位置までしっかり差し込んでください。  
※安全のため、すべての接続部分には、隙間のないようにテープ巻きをしてください。

# 取扱いについて

施工の前に必ずお読みのうえ、正しく施工してください。

ルームエアコン用縦引き逆止弁

## 消音バルブ

ESV-146

### ■使用上のご注意

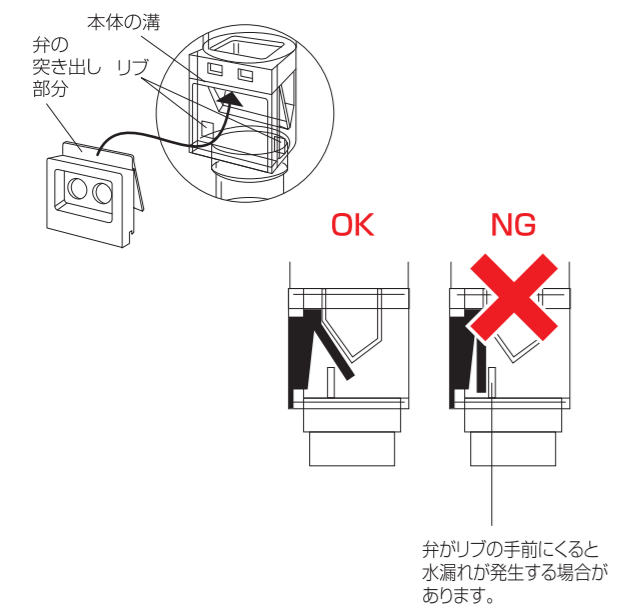
- ①ルームエアコン以外に使用しないでください。
- ②本品にドレン水以外は流さないでください。
- ③清掃用洗剤(薬剤)を流すときは、本品を取り外してください。
- ④冷暖房中は、ドレン水と共に流れ込んだ泥状物質が消音バルブの弁に溜まり目詰まりを起こし、漏水が発生する可能性があります。メンテナンスができる位置へ取り付けて、定期的に点検してください。
- ⑤本品内部にゴミ等が発見された時には、すみやかに清掃し、取り除いてください。
- ⑥漏水する可能性があるため、屋内では使用しないでください。

※上記注意事項をおこたると、弁が開かずドレン排水が室内機から漏水する恐れがあります。

### ■お手入れの手順

ルームエアコンが停止していることを確認し、下記手順にて、お手入れを行ってください。

- ①弁を下から上に引っぱり上げ、本体からはずしてください。
- ②ケース内部、弁部分に溜まっているゴミを洗い流してください。
- ③下図のように弁の取り付けは、弁を本体のリブ部分のうしろに差し込み、弁の上部突き出し部分を本体の溝に差し込んだのち、下部を本体に押し込んでください。
- ④最後に確実に固定されていることを確認してください。



弁がリブの手前になると水漏れが発生する場合があります。

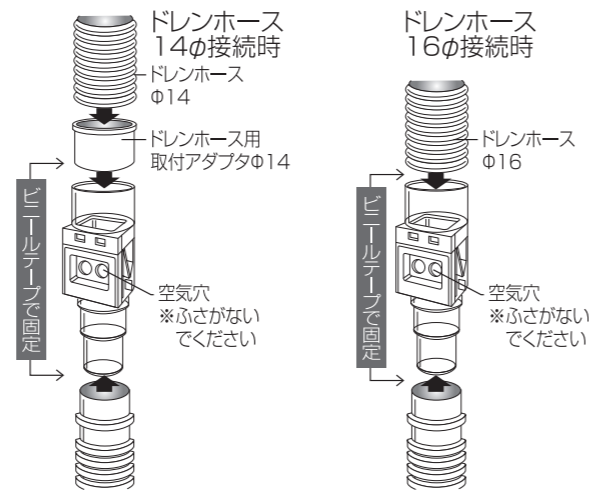
### ■使用温度条件

0℃～60℃(凍結しない環境)

### ■施工上のご注意

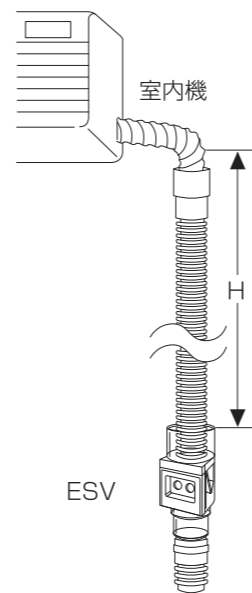
- ①本品は樹脂製です。火の近くなどの高温な場所や強い衝撃を受けるような場所での使用および保管はしないでください。
- ②必ず垂直に取り付けてください。傾けた状態、または横向きでの使用は機能をみださないため、注意してください。
- ③空気穴はふさがないように注意してください。
- ④消音バルブとドレンホースの接続は、ビニールテープで接続してください。(接着剤使用不可)
- ⑤取り付け後、ドレンホース末端より確実に排水することを確認してください。

### ■施工方法



- ①施工の際、ドレンホースに逆勾配、トラップ、たるみがないことを確認の上、取り付けてください。
- ②逆勾配、トラップのある状態での取り付けは、室内機からの漏水トラブルの原因となります。
- ③室内機からESVの取り付け高さ(H)は30cm以上長く取ってください。

本製品は、定期的な点検及びお手入れが必要です。



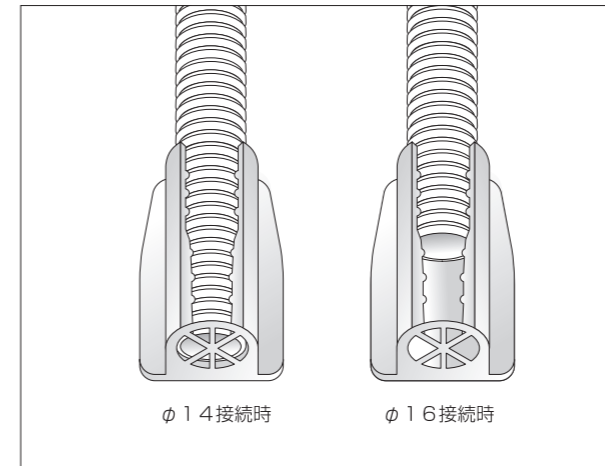
ルームエアコン用防虫キャップ

## エバガード

EG-146

### ■使用上のご注意

- ①ドレンホース以外に使用しないでください。
- ②ドレンホースのつまりを防止するため、定期的に清掃してください。



### ■使用温度条件

-20℃～60℃

業務用エアコン用逆止弁

## CVトラップ

CVT-25・CVT-40

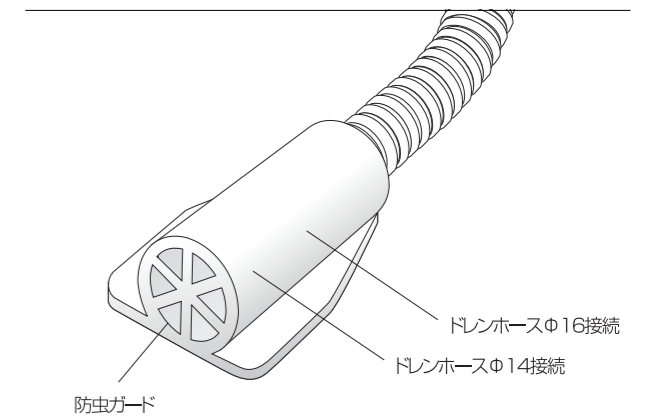
### ■使用上のご注意

- ①本品は気体を完全に遮断するものではなく、封水切れや使用状況により、臭気が侵入する場合があります。
- ②本品は樹脂製です。火の近くなどの高温な場所や強い衝撃を受けるような場所での使用および保管はしないでください。
- ③エアコン、冷凍・冷蔵設備のドレン排水用途以外には使用しないでください。
- ④ドレン水と一緒に流れ込んだゴミや泥が弁部分に溜まり、目詰まりを起こす可能性があります。定期的に点検、清掃してください。
- ⑤長期間使用を休止した場合は、使用再開前に弁の動作を点検、確認してください。
- ⑥凍結の恐れのある環境では使用しないでください。
- ⑦フタを接着剤などで固定しないでください。
- ⑧屋外で使用する場合は、本製品に紫外線(直射日光)が当たらないようにしてください。

### ■施工上のご注意

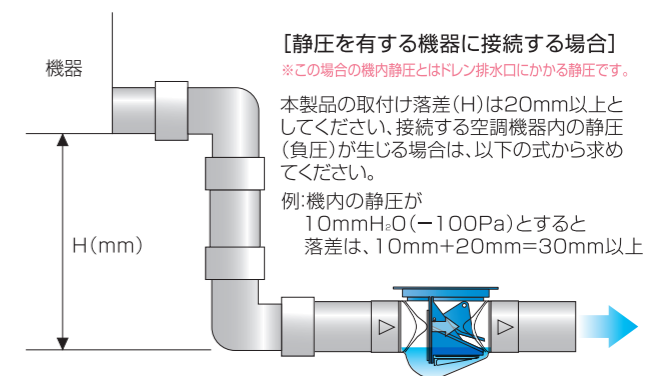
- 踏まないよう注意してください。
- 取り付けの際、逆勾配にならないように注意してください。逆勾配になるとうまく水が流れません。
- 両面テープを使用する場合は、ホコリ等を清掃し貼り付けてください。(両面テープ付き)

### ■部位説明



### ■取り付けに関するご注意

- ①本品は横引きタイプの逆止弁です。矢印に従い流入、流出に注意して、蓋が真上になるように取り付けてください。縦向きには取り付けないでください。
- ②封水が切れる可能性があるため、7°(12/100勾配)以上傾けて設置しないでください。
- ③接続する空調機の機内静圧※に応じて落差(H)を取ってください。(使用範囲:機内静圧 CVT25:0～-250Pa / CVT40:0～-500Pa)



本製品の取付け落差(H)は20mm以上としてください。接続する空調機器内の静圧(負圧)が生じる場合は、以下の式から求めてください。  
例:機内の静圧が 10mmH<sub>2</sub>O(-100Pa)とすると 落差は、10mm+20mm=30mm以上

..... (P43に続く→)

# 取扱いについて

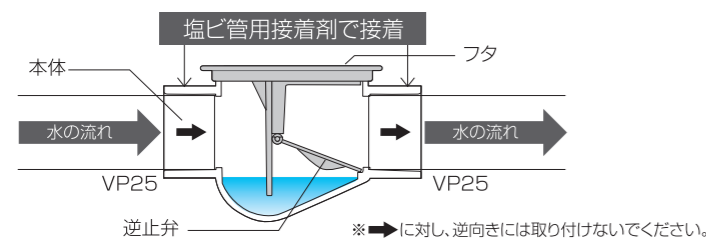
施工の前に必ずお読みのうえ、正しく施工してください。

CVTラップ [CVT-25・CVT40] (→P.42からの続き)

## 取り付けに関するご注意

- ④本品とドレン用塩ビ配管(VP25)の接続は、一般の塩ビ管接続方法と同様に行ってください。
- ⑤パイプは、接着剤を外周にムラなく塗付し、挿入の際に自然に止まる位置までで止め、無理に入れないでください。
- ⑥接着の際、弁部分に接着剤がつかないように注意してください。弁が動かなくなる可能性があります。
- ⑦本品接続付近のドレン配管には支持、固定を実施し、本品に無理な力が加わらないようにしてください。
- ⑧本品の流出側配管にはUトラップ等を設置しないでください。動作不良の原因となります。
- ⑨本品は定期的な点検、清掃を必要とするため、取り付けた周囲にはその作業が可能なように空間を確保してください。
- ⑩必要に応じて結露防止対策を実施してください。
- ⑪取り付け後は必ず水漏れの有無、弁の動作確認を行ってください。

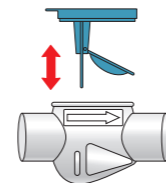
## 取り付け方法



## 点検・掃除について

### 【CVT-25】

- ①フタの開閉時には本体を支えて、配管に無理な力が掛からないようにしてください。
- ②フタは引っ張り上げることで取り外しが可能です。
- ③ケースの内部に溜まっているゴミや泥を取り除いてください。特に弁の部分は丁寧にしてください。
- ④清掃終了後は弁の動作を確認し、フタを閉め、水漏れの有無を確認してください。
- ⑤配管の接合部や本体の支持などに異常がないか確認してください。

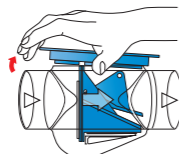


### 【CVT-40】

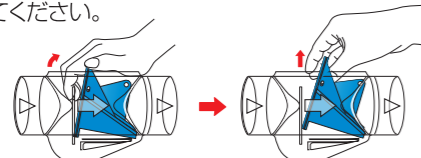
※業務用エアコン、業務用冷蔵・冷凍機器等が停止していることを確認し、必ずCVT-40の流入口が左側に、流出口が右側にあることを確認した上で、下記①～⑤にてお手入れを行ってください。

- ①フタを引っ張り上げ、本体から外してください。

※フタの開閉時には本体を支えて、配管に無理な力が掛からないようにしてください。

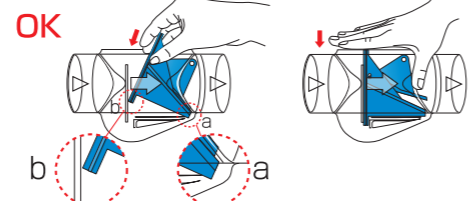


- ②下図のように逆止弁を弁方向に引き上げるように引っ張り出し、本体から外してください。

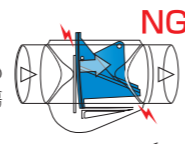


- ③本体内部、逆止弁に溜まっているゴミを洗い流してください。

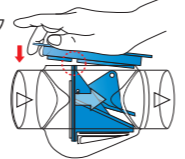
- ④弁の取り付けは、下図のように逆止弁の下辺両先端(a, b)を所定の場所に嵌め込み、下辺両先端(a, b)所定の場所からずれないように上部から本体に押し込んでください。



※逆止弁の下辺両先端(a, b)を所定の場所に嵌め込まずに上部から本体に押し込むと逆止弁が損傷する場合があります。



- ⑤弁の動作を確認し、溝を合わせながらフタを閉め、水漏れの有無を確認してください。  
※配管の接合部や本体の支持などに異常がないか確認してください。



## ■使用温度条件

0℃～50℃(凍結しない環境)

# ダクト部材 を選ぶ

換気ダクト UKD型	P.45
消音断熱ダクト USD型	P.45
パキパキジョイント PJ型	P.46
取扱いについて	P.47

